

令和3年度
「新しい学校推進 意見交換会」資料

【小佐々中学校区】

佐世保市教育委員会
新しい学校推進室

1

小佐々中学校区 現在の通学区域（校区）図

【参考】道のり

- 小佐々小・・・・・・・・→小佐々中 約2.8km（徒歩約36分）
- 楠栖小・・・・・・・・→小佐々中 約3.3km（徒歩約42分）
- 黒石簡易郵便局・・・・→小佐々中 約4.9km（徒歩約64分）
- 矢岳簡易郵便局・・・・→小佐々中 約5.6km（徒歩約67分）
- 淀姫神社・・・・・・・・→小佐々中 約6.9km（徒歩約90分）



2

再編後の通学区域（校区）イメージ図



3

各学校の現状 及び 児童生徒数の将来推計

① 現状（令和元年5月1日現在）

小・中学校	小佐々小	楠栖小	小佐々中
児童数（令和元年5月1日現在）	215人	149人	169人
学級数（特別支援含む）	10(12)学級	6(8)学級	6(8)学級
建築年数	57年	34年	50年
校舎延床面積（施設台帳より）	3,763 m ²	3,826 m ²	3,603 m ²
運動場面積	約 9,500 m ²	約 13,500 m ²	約 10,500 m ²
敷地面積	約 14,700 m ²	約 22,500 m ²	約 21,000 m ²
地区自治協議会区域	小佐々	小佐々	小佐々

※敷地面積には山林や法面（人工的な斜面）を含めておりません。

② 小佐々中学校区の児童・生徒数の推移

再編しない場合			再編した場合		
学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)	学校名	令和元年 (5月1日現在)	約20年後 (2040年推計値)
小佐々小	215名	約150名	小佐々 楠栖 義務教育 学校	533名	約330名
楠栖小	149名	約80名			
小佐々中	169名	約100名			

4

学校再編案について

目的	<p>☆3校が小規模校であることのメリットを生かしつつ、施設一体型義務教育学校導入によって現在実施している小中一貫教育のさらなる充実を図ること</p> <p>☆小佐々小と小佐々中の施設老朽化問題の解消</p>	
再編案	<p>◎小佐々小と楠栖小と小佐々中を統合し、義務教育学校とします。（統合後の場所は小佐々中）</p> <p>（理由：小佐々小と楠栖小の統合により、望ましい規模の学校となります。小佐々中は小規模校のままとなりますが、すでに3校では小中一貫教育が行われています。その教育効果をさらに高めるため、施設一体型の義務教育学校とすることで、学校全体として一定の集団規模を確保しつつ、児童生徒の個性や能力を育成したいと考えます。場所選定の理由は小佐々中の敷地が広く、両小学校の中間に位置しているためです。）</p>	
期待できる教育効果	<p>○義務教育学校という一つの学校組織及び施設一体型となることで、9年間を見通した特色ある教育活動を、緊密に連携しながら行うことができます。また、コミュニティ・スクールとして、学校と地域の連携がさらに図りやすくなります。</p> <p>○老朽化が進む学校を再編・整備することで、より安全で整備された学校に通うことができます。</p>	
留意点	○現小佐々小・楠栖小校区で、通学距離が長くなる児童が出てくる可能性があります。	
	対応策	○路線バスやスクールバスの利用について検討します。

- 小中一貫教育のさらなる充実と、学校規模対策のため、「小佐々小と楠栖小と小佐々中を義務教育学校へ統合」することについて。

- 統合後の場所を「小佐々中」とすることについて。

● 参考比較

	中央運動広場	小佐々中	楠栖小	小佐々小
運動場面積		約 10,500 m ²	約 13,500 m ²	約 9,500 m ²
敷地面積	約 26,523 m ²	約 21,000 m ²	約 22,500 m ²	約 14,700 m ²



小佐々中央運動広場

小佐々中

※全て同縮尺



楠栖小



小佐々小